



組織不祥事防止研究会

参加企業募集のご案内

<趣 旨>

本研究会では、企業組織における不祥事がいかに起こるのか、そしてそれをいかに防止するのかというに関する様々なトピックについて企業の方々と共に考え、理解を深める機会を提供することを狙いとしています。特に、本研究会では外部報告やガバナンスの観点と経営管理の観点からアプローチしていきます。本研究会がターゲットとする不祥事は、主に意図的に起こされた不正に関わる不祥事に焦点を当てます。この不祥事に含まれるものとしては、不正会計や検査不正、製品の偽装、ハラスメントなどがあり、組織的に行われたものだけでなく、個人的に行われたものも含まれます。（故に、第三者の不正アクセスによる情報流出や取引先の不正行為による損失など、意図的でない不祥事に関しては触れていきません）

これら企業組織における不祥事は、金銭的なダメージのみならず、企業のブランドや信用・信頼に深刻なダメージを与えます。そのきっかけや規模は小さくとも、失ったものを取り戻すために大きな時間やコストを要することになります。それ故、コンプライアンスの重視といった徹底した管理や倫理教育が行われることがあります。このことは一方で組織の体力や活気を失わせてしまうこともあります。また不祥事への対応の難しさのさらなる点は、特定の要因によってだけ引き起こされるわけではないことがあります。「幸福の形はいつも同じだが、不幸の形はそれぞれ違う」という言葉と同様に、企業の不祥事はその企業組織それぞれ特有の複雑な事情が影響します。それは、不祥事の対策がいわゆる組織風土の改善や風通しの良い組織づくりといった総論的なことで終わってしまうことからわかります。

本研究会では、様々な不祥事の事例を様々な角度から理解することで、自社の不祥事防止に対する考え方を深めていくことを目指します。

<研究会の進め方>

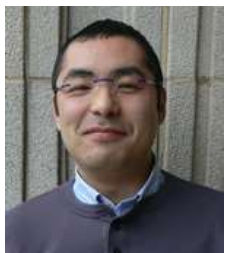
本研究会では、企業組織の不祥事に関わる様々なテーマを取り上げ、各テーマに関連する分野の最前線で活躍している研究者が不祥事のケースをもとにその解説を行います。その後、参加者、研究メンバーによる自由な討論を行い、企業の現場で起こっている様々な課題に対して、どのように向き合い対応していけば良いのかについて掘り下げていきます。おおむね各回では、前半にケースをもとにした解説を行い、後半は前半の議論をもとに教室内で議論をしていくという形を取ります。本研究会は、「不祥事」という点で参加者間での情報共有が難しいことが予想されますが、出来る限りで自社の事例を紹介していただきながら、リアルでオープンな議論をしていただけることを期待します。

<研究主査・研究メンバー>



加護野 忠男（神戸大学名誉教授）

1973年神戸大学経営学部助手、1988年同助教授、1999年神戸大学大学院経営学研究科教授、2011年神戸大学名誉教授、甲南大学特別客員教授、2012年大阪経済大学客員教授、2019年より現職。投資家主導の企業統治の問題点を解明し、ファミリー企業の強靱さと脆弱性について研究や、地場産業・新しいビジネス・システムの設計思想の研究や先端事例を発掘している。



鈴木 竜太（神戸大学大学院経営学研究科 教授）

1997年静岡県立大学経営情報学部助手、専任講師を経て、2003年より神戸大学大学院経営学研究科准教授、2013年から同教授。専門領域は、組織と職場と人のマネジメント。個人と組織の良好な関係のあり方やそれらの関係の変化 日本における若年層ホワイトカラーのキャリア上の課題や特有の現象 日本の組織のプロジェクトやグループ、チームの有効なマネジメントといったことに関心をもって研究している。

<研究メンバー>



高田 知実（神戸大学大学院経営学研究科 教授）

2007年神戸大学大学院経営学研究科准教授。2021年より現職。専門分野は財務会計と監査。監査と財務会計とその関連分野の研究をしている。企業が公表する情報を用いたデータ分析が中心で、監査の品質を定量化してその規定要因を調査したり、コーポレート・ガバナンスの有効性を財務会計的な尺度から捉えたり、保守主義会計の機能に関する定量的分析を行っている。



松尾 健治（熊本学園大学商学部 准教授）

2001年東京海上火災保険株式会社、2014年株式会社グロービス、2017年より熊本学園大学商学部専任講師、2020年同准教授。専門は、経営組織論、経営管理論。組織の成長あるいは衰退の長期的動態、組織における現象の長期的動態に関する理論的考察、社会科学の事例研究に関する方法論と科学哲学、歴史学と社会科学の統合に関する方法論的考察について研究を行っている。

<プログラム・スケジュール> 2～3月指定金曜日 全5回 13:00～15:00

第1回：2月10日（金）

テーマ：企業経営における不祥事

講師：加護野 忠男・鈴木 竜太

概要：本研究会における主たる研究テーマの概要について説明し、企業の不祥事が多面的な構造によって起こりうることをケースを通じて理解するとともに、対策や防止策の難しさについても議論します。

第2回：2月17日（金）

テーマ：不正リスク要因と不正会計

講師：高田 知実

概要：不正はランダムに起こるのではなく、特定の要因（不正リスク要因）が揃った場合に起こりやすく（起こりにくく）なることが学術研究によって明らかになっています。最初に、それらの要因を解説し、実際に起こった海外子会社における不正会計の事例を読み解きながら、不正リスク要因との関連性を議論していきます。

第3回：3月3日（金）

テーマ：なぜ人はルールを逸脱してしまうのか

講師：鈴木 竜太・加護野 忠男

概要：より個人に焦点を当てて不祥事の問題を考えていきます。会計不正にしても、製品に関わる様々な偽装にしても、最終的には個人が問題となる言動を行うことによってそれが不祥事につながります。最近も頻出するハラスメントや問題発言も同様です。個人がなぜルールやコンプライアンスを逸脱するような言動をとってしまうのか、この点についてケースをもとに議論していきます。

第4回：3月10日（金）

テーマ：経営者の暴走とガバナンス

講師：松尾 健治

概要：なぜ組織は分かっている不正を働いてしまうのか、その一つが経営者による誤った強いリーダーシップです。しかし、それは必ずしも経営者が不正を指示することによって起こるわけでもありません。歴史を見てわかることは強権的なリーダーの存在が結果的に促してしまうケースです。この回ではカネボウのケースを読み解きながら経営者の暴走から起こる不正について議論していきます。

第5回：3月17日（金）

テーマ：起こりうる不祥事にいかに対処するか

講師：加護野 忠男・鈴木 竜太

概要：ラップアップとしてこれまでの議論をもとに、起こりうる不祥事にいかに対処すべきかという点について議論をします。企業不正など組織の中の不祥事への対処の難しさは、個人的な悪意や保身によってそれが引き起こされるのではなく、組織のためを思って起こしてしまうケースがあることです。また管理をしっかりすることはかえって不正の兆候を見逃してしまうことにもつながります。対処の盲点なども含め、それぞれの参加者の事例を踏まえて議論していきます。

<対象者> 原則、上場企業ご所属の方を対象としています

- ・人事や総務など不正、不祥事の担当部署の部長クラスの方
- ・企業のCEOもしくはCF0の方
- ・企業後継者の方

<実施方法> 原則対面実施 *状況によりZoomによるオンライン実施に変更することがございます

<参加費> 330,000円(税込) *1社につき1名

<最少催行社数> 10社 *10社に達しない場合、開催を見送ることがございます

<申込方法> 以下、1, 2いずれかの方法でお申し込みください。

1. 案内に同封の申込書に当該内容を記入のうえ、FAX送信もしくは現代経営学研究所事務局 (bi@riam.jp) 宛てにメール添付してご提出ください。

*当研究所WEBサイトから申込書をダウンロードいただけます

WEB掲載URL: https://riam.jp/cat_guide/new_guide

2. 現代経営学研究所事務局 (bi@riam.jp) 宛てに、件名を「組織不祥事防止研究会参加希望」として、メール送信ください。

事務局より申込書(エクセルファイル)を添付して返信しますので、添付ファイルに当該事項を入力のうえ、事務局にご提出ください。

<申込締切> 2023年1月27日(金)

<会場アクセス>



神戸大学六甲台キャンパス

- 徒歩 阪急「六甲」駅から約15~20分
- バス 阪神「御影」駅、JR「六甲道」駅、阪急「六甲」駅から、神戸市バス36系統「鶴甲団地」行乗車「神大正門前」下車
- タクシー 阪神「御影」駅より約15~20分
JR「六甲道」駅より約10~15分
阪急「六甲」駅より約5~10分
新幹線「新神戸」駅からタクシーで約20分
*「神大正門前」とご指示ください

<お問い合わせ先> 現代経営学研究所

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学大学院経営学研究科内(第三学舎)

TEL: 078-805-1623 FAX: 078-805-1624 e-mail: bi@riam.jp

*メールでお問い合わせいただき、1週間以上経過しても担当者より返信がない場合は、お手数ですが事務局までお電話ください(平日10:00~16:00)

現代経営学研究所(RIAM)について

現代経営学研究所(Research Institute of Advanced Management:RIAM)は、神戸大学大学院経営学研究科が1993年に設立した「現代経営学研究学会」を、2004年に改組した特定非営利活動(NPO)法人です。「産学官連携」を通じた経営教育研究の促進を基本理念とし、神戸大学大学院経営学研究科と連携して、先進的・実践的経営学の創造を促進する活動を行っています。

主な活動として、ゲストを招いてのワークショップとシンポジウムの定期開催や、実務と研究がコンパクトにまとめられた会報「ビジネス・インサイト」の発行(2021年度より電子版)などがあります。

また、経営教育事業として、講師派遣や各社にあわせたオーダーメイドの企業内研修、次世代経営リーダー候補を対象としたRIAMビジネススクール「経営人材育成 総合コース」などの研修も開講しています。